

中高生がデートDVについて語り合う

～ デートDV予防座談会開催 ～

本日、豊島区内にある中高生のための活動拠点施設「ジャンプ東池袋」において「デートDV予防座談会」が行なわれた。これは、DV(ドメスティック・バイオレンス)が、交際中の男女間にも起きる身近な問題であることを若年層にも理解してもらうために開催するもの。よりよい人間関係づくりによる男女間暴力の防止と、ひとりで悩まず相談機関を利用することを中高生に対して呼び掛けることを目的としている。

この日は施設の利用者会議に参加した中学生、高校生約 30 名が、東京都のエイズ啓発拠点である「HIV/AIDS情報ラウンジ ふぉー・てぃー」のスタッフをコーディネーターとして、デートDVについて懇談した。

また、会場では豊島区男女平等推進センターが作成した啓発パンフレットと相談カード等を配布する。「ジャンプ東池袋」を利用する中高生が、このカードを気軽に手に取る事ができるように施設内の男女各トイレに設置することとした。

日 時	平成 22 年 12 月 18 日 (土曜日) 午後 3 時～午後 3 時 30 分	
場 所	中高生センター ジャンプ東池袋 (東池袋 2-38-10)	
主 催	豊島区男女平等推進センター 共催：HIV/AIDS 情報ラウンジふぉー・てぃー、ジャンプ東池袋	
当日の様子 参加者の声 など	<p>まず、コーディネーターが人付き合いで悩んでいる事例を紹介したマンガを朗読。参加者は、その登場人物の気持ちについて感じたことを、近くの友人たちと話し合いながら配られた用紙に記入していった。</p> <p>その後、記入された意見を紹介し、最後に、人間関係について悩んだ時は、一人で悩まず、相談機関などを利用するよう呼びかけて懇談会は終了した。</p> <p>「若い中高生が、これから自分と相手を大切にするとすることを考えるきっかけになってくれればうれしい」と担当者は話している。</p>	
背 景 補 足 事 項	* 「ジャンプ東池袋」 中・高校生が放課後、音楽や演劇などの文化芸術活動を行なう場として、またボランティア活動の拠点、友だちとの語り、情報交換の場として自主的に利用するための施設。	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	懇談会の様子 	周りの友人と語り合う 
問 合 せ	男女平等推進センター	